

教育指導課

英語のコミュニケーション能力を高める
イングリッシュ・キャンプ in 庄原



ALTと英語で会話している生徒

8月8日、市内の中学生を対象に、「イングリッシュ・キャンプ in 庄原」を庄原市ふれあいセンターで行いました。
これはALT（外国語指導助手）と英語で活動することを通して、国際感覚を養ったり、これまでに習得した英語を使ったコミュニケーション能力を生かしたりすることを目的に、実施しているものです。
今回は、15人の生徒が参加し、6人のALTと一緒に、ゲームやグループワークなどを通して、英語で伝える喜びを感じながら、コミュニケーション活動を行いました。
参加した東城中2年生の成松皆飛さんは「昨年参加して、楽しかったので今回も参加した。たくさんの人と英語で交流ができたので楽しかった。来年も友達を誘って、ぜひ参加したい」と笑顔で話しました。

管財課

市が発注した建設工事で優れた成績を収める
優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰

前列左から株加島建設代表取締役後列左から株加島建設 藤原由雄さん、松田誠さん、株大和建設 池森誠治さん、株大和建設 松浦利幸さん、加島俊次さん、木山市長、株大和建設 池森誠治さん



本年度の庄原市優良建設工事施工業者の認定式ならびに優良技術者の表彰式を8月5日、市役所本庁舎で開催しました。
この制度は、建設会社の技術力向上を目的として、市が発注する契約額500万円以上の建設工事について、品質や出来栄、安全対策など総合的に評価する工事成績評定点が82点以上（満点100点）の成績を収めた工事の施工業者および技術者を認定・表彰するものです。
令和5年度に完成した対象工事34件のうち、優れた施工技術により認定基準を満たした2社を「優良建設工事施工業者」として認定し、工事を担当した技術者3人を「優良技術者」として表彰しました。
認定制度を創設した平成20年度から、株加島建設は2年度目、株大和建設は8年度目の認定となりました。
木山市長は認定書と表彰状を手渡し「良質な社会資本の整備や地域の安全・安心確保に、引き続きご尽力いただきたい」と述べました。

総務課

被爆者の思いを受け継ぐ
平和啓発セミナー



庄原会場で講演を聞く参加者



東城会場で講演を行う須崎さん

市は原爆や戦争の記憶を風化させず、平和の尊さや戦争の悲惨さを後世に伝えていくことを目的に、毎年、平和啓発セミナーを開催しています。
本年は8月5日に庄原市ふれあいセンターで、8日に市役所東城支所で開催し、「被爆体験証言の伝承講話」として講演を行いました。
講演では、被爆体験伝承者（庄原会場は高橋勝彦さん、東城会場は須崎早苗さん）が写真や絵、当時の広島市の地図を使い、被爆者から受け継いだ、原爆の悲惨な状況や平和に対する思いについて語りました。
参加者は「平和な世界の大切さをきちんと理解していくこと、広島や長崎のことを知ることが戦争を止める、戦争をしないことにつながる」と感じた。「毎年、被爆体験を聞く機会があり、平和のありがたみを再認識できてよかった」と話しました。
市は今後も、戦争や原爆に関する記憶や平和への思いを次世代へ継承していくため、平和啓発を推進していきます。

社会福祉課

平和への思い・安らかな眠りを祈る
令和6年度庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典

戦没者に哀悼の意を表すとともに、恒久平和を祈念するため、令和6年度庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典を、8月21日、庄原市民会館で開催し、市民や遺族など326人が参列しました。
最初に木山耕三市長が「今を生きる私たちが平和と繁栄を享受できるのは、戦没者の方々の尊い犠牲と、先人の復興へのたゆまぬ努力と平和を願う強い意志によって築かれていくことを胸に刻み、恒久平和の実現を訴えつづけていく」と述べました。
その後、総領中3年の栄柑奈さんと松井翼さんが「人と人が争いあう戦争は憎しみしか生みません。人が憎しみ合い、苦しみ合う戦争を二度と起こさないためにも、戦争の悲惨さを忘れることなく、この美しい広島をのまを、これからも守り続けていくことを誓います」と、平和への誓いを述べました。
そのほか、追悼吟詠や板橋小学校児童による合唱、口和本の会による朗読、庄原中学校吹奏楽部による演奏が行われました。
参列者は、祭壇に献花を捧げ、2923人の戦没者の御霊を追悼するとともに、恒久平和を祈りました。



式辞を述べる木山市長



献花する参列者



平和の誓いを述べる総領中学校の生徒



口和本の会による朗読



板橋小学校の児童による合唱

保健医療課

この地域です〜っと暮らしたい
市民公開講座



左から當天医師、本田医師、吉光医師

庄原市の地域医療を考える会が、「市民公開講座」を庄原市民会館で開催し、市民280人が参加しました。
講座では、西城市民病院の吉光成児医師が「睡眠時無呼吸症候群」、庄原赤十字病院の本田由美医師が「腎臓病」、庄原赤十字病院の當天賢子医師が「背骨の病気」について、中山間地域の医療機関で現在どのような治療が受けられるかを、実際の治療方法などを基に、分かりやすく解説しました。
参加者は「分かりやすく説明して下さり勉強になった」「病院が身近になった。今後も講座を継続してほしい」と話しました。

教育
総務課

子どもたちのより良い教育環境を整備するため

峰田小学校が板橋小学校へ統合することに関する合意書署名式

8月8日、峰田小学校が板橋小学校へ統合することに關する合意書署名式を行いました。

これまで市教育委員会と峰田小学校保護者、本村自治振興区、峰田自治振興区は、子どもたちのより良い教育環境を整えるため、峰田小学校の統合についての協議を重ねてきました。そしてこのたび、令和7年4月1日から板橋小学校へ統合することで、四者が合意しました。

当日は、峰田小学校PTAの熊原直美会長、本村自治振興区の新元匡尚区長、峰田自治振興区の藤永春信区長、牧原明人教育長が出席し、合意書に署名しました。

熊原会長は合意について「時間をかけて意見を交わしてきたが、最終的には子どもたちの教育環境を第一に考えた。峰田小学校がなくなるのは寂しいが、今後は板橋小学校で多くの子どもたちと学び合い、たくましく成長してくれることを期待している」と話しました。

今後は、通学方法や各種行事など、関係者で協議・調整を行い、統合に向けた準備を進めていきます。



左から牧原教育長、藤永区長、新元区長、熊原会長

教育
指導課

子供司書を目指して!

子供司書養成講座

市教育委員会は、毎年、市内小学5・6年生の希望者を対象に「子供司書」養成講座を行っています。

本年は、14人の児童が受講し、7月20日に、第1回目の講座として「全体研修」を行いました。

子供司書とは、学校や地域の図書館で読書の楽しさを伝え、周りの友達に読書を好きになってもらうように活動をする、子どもの読書活動推進リーダーのことです。

受講者は、日本十進分類法の学習、絵本の読み語りの練習、ポップ作りの演習などに、熱心に取り組みました。

参加した東城小6年生の村上隼都くんは「おすすめの本を紹介する工夫を学校や生活の中で生かしたい。読み語りをするときには、本を持つ姿勢に気を付けたい」と話しました。

養成講座では、12月まで図書館業務の体験や、各学校で読書活動を推進する活動を行います。

活動が認められれば、2月に県教育委員会から子供司書として認証される予定です。



読み語りを練習する児童

市民
生活課

犯罪や非行への理解を深める

第74回「社会を明るくする運動」庄原市推進大会

7月23日、第74回「社会を明るくする運動」庄原市推進大会を、庄原市ふれあいセンターで開催し60人が参加しました。

「社会を明るくする運動」とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

開会式では、広島保護観察所の古賀正明所長から大原直樹副市長へ、内閣総理大臣による同運動の推進メッセージが伝達されました。

その後、システムエンジニアや少年補導協会員として活動している青少年育成指導者の行廣典也さんによる講演を行いました。

行廣さんは、近年のネット上でのトラブルの動向や、スマホやSNSとの上手な付き合い方について話し、講演を聞いた参加者は「今日の話を家族や知り合いにも伝えたい」と話しました。



講演する行廣さん